**学級活動（３）学習指導案**

○○○○小・中学校

指導者　○○○○○

**１　日　　　　　時**　　　　　令和○○年○○月○○日（○）○校時　○○：○○～○○：○○

**２　場　　　　　所**　　　　　第○学年○組教室（南校舎２階）

**３　学 年 ・ 学 級**　　　　　小５、６学年または中１、２、３学年○組　　○名

**４　単元・題材名**　　　　「６年生になって」（例）

学級活動（３）　ア　現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

**５　単元・題材について**

1. **児童・生徒観（略）**

・児童・生徒の学級生活における実態・これまでの学級活動の取り組み

・学年の評価規準からみた実態と目指す方向

**（２）教材・題材観(略)**

・題材設定理由

・本題材における指導の工夫と評価との関わり

**（３）指導観（宇宙教育を使うことのよさ）**

①宇宙や宇宙飛行士の講義を受けることで、宇宙飛行士という職業にワクワク感や憧れ、興味をもち、グループワークを行うことができる。

②コミュニケーションを鍛える訓練を体験することで、普段から使っている言語についてもう一度見つめ直し、考えを深めることができる。

③宇宙飛行士に必要な資質・能力を学ぶことで、１つの指針をもとに学校で学んだり、生活したりする意義や目標をもち、学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうする態度が涵養できる。

**６　単元・題材の評価規準（５、６年生）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **よりよい生活を**  **築くための知識・技能** | **集団や社会の形成者としての**  **思考・判断・表現** | **主体的に生活や人間関係を**  **よりよくしようとする態度** |
| ・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 | ・希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、 解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。 | ・現在及び将来にわたってより よく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、 自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。 |

**７　事前の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **児童の活動** | **指導上の留意点** | **目指す児童の姿と**  **評価方法** |
| ・題材を知る。  ・アンケート調査を実施する。 | 児童がアンケートを集計し、まとめることで興味・関心を高めるようにする。 |  |

**８　本時の授業計画（１・２／２）**

1. **本時の目標**

宇宙飛行士に必要な資質・能力をもとに、これからの一年間や行事までの見通しをもち、そのために必要なことについて話し合い、自分にあっためあてを立てて実践できるようにする。

【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】

**（２）本時の流れ**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **学習活動と内容** | **指導上の留意点** | **【評価の観点】**  **〈評価方法〉** |
| **導入**  **(5分)** | **１．「宇宙飛行士に必要な能力は？」を視聴する前に宇宙飛行士ついて知っていることを話し合う。**  C：宇宙では体がプカプカ浮くので、そのための訓練を地上でしている  C：JAXAに宇宙飛行士がいると聞いたことがある。  C：いろいろな国の人がいるから、話す言葉は英語かロシア語らしい。  C：宇宙飛行士がどのような仕事をしているか分からない。 | ・動画を視聴する前に宇宙飛行士について知っていることを話し合うことで、「宇宙に住んでいる宇宙飛行士はどのような生活や仕事をしているのだろう」と好奇心をもつことができるようにする。 |  |
| **展開1**  **(15分)** | **２．動画を視聴し、宇宙飛行士の生活や仕事について理解する。**  C：朝、昼、夜で宇宙食を食べている。  C：様々な実験をしている。  C：私たちも宇宙に住むかもしれない。  **３．17:05「パズルの準備」で動画を一時停止し、コミュニケーション力を鍛える訓練の準備をする。**  C：すべてのパズルを準備できた。  C：どのような訓練なのだろうか。 | ・宇宙飛行士が地球とは異なる環境で生活や仕事をしている様子を写真や動画で見ることで、宇宙飛行士という職業にワクワク感や憧れ、興味をもつことができるようにする。  ・宇宙飛行士に必要なコミュニケーション力を鍛える訓練という設定や星出宇宙飛行士の動画を活用することで、意欲をもって取り組むことができるようにする。  ・一人ひとりが同じミッションに取り組むことで、同じ指示でも人によってとらえ方が違うことを実感できるようにする。 |  |
| **展開２(25分)** | **４．25:00「mission.1」で動画を一時停止**  **し、管制官役の子どもに指令の紙を渡す。**  C：管制官は宇宙飛行士にはミッションを見せてはいけない。  C：終わったらアドバイザーがアドバイスをしよう。  C：5分たったら、役割をローテーションして、次の管制官が新しいミッションをもらいにいく。  **５．26:28「mission.2」で動画を一時停止し、管制官役の子どもに指令の紙を渡す。**  **６．27:37「mission.3」で動画を一時停止し、管制官役の子どもに指令の紙を渡す。**  **７．28:34「mission.4」で動画を一時停止し、管制官役の子どもに指令の紙を渡す。** | ・ローテーションで全ての役を行うことで、それぞれの立場からコミュニケーションについて考えることができるようにする。  ※より宇宙との交信の雰囲気を出すために離れた教室で、タブレットPCを活用し、通信することも考えられる。  ・それぞれのミッションを終えた後動画を再生し、価値づけをすることで、回を重ねるごとにコミュニケーションがうまくいく実感を得たり、当たり前に使用している言語を見つめ直したりすることができるようにする。 |  |
| **展開3**  **(15分)** | **８．29:41「どのようなことを感じ、考えた？」で動画を一時停止し、話し合う。**  C：言葉だけで伝えるのがここまで難しいと思わなかった。  C：ジェスチャーを使って説明したいと思った。  C：まず、次に、と説明してくれると聞いていて分かりやすかった。 | ・話し合った後、動画を再生し、講師や宇宙飛行士の価値づけを聞くことで、今後コミュニケーションをとる時や学級活動を行っていくときにどのような態度をとればよいのか見通しをもつことができるようにする。  ・動画内の宇宙の話を自分たちのクラスに置き変えられないかという問いから、宇宙飛行士の考えを指針に今までの自己を振り返り、自分のめあてを立てることができるようにする。 |  |
| **まとめ**  **(35分)** | **９．「宇宙飛行士に必要な能力は？」を視聴後、 具体的な自分のめあてを立てる。**  C：私は様々な考え方の人がいるから、そ  の人がどうしてそのように考えたか  をまずは理解するようにしていきた  い。  C：私は相手が話している内容を理解してくれないとイライラすることがある。  　　相手に矢印を向けるのではなく、自分がどのような話し方をすれば相手が分かってくれるかと自分に矢印を向けていくようになりたい。 | ・宇宙の話を自分たちのクラスに置き変えられないかと問うことで、宇宙飛行士の考えを指針に今までの自己を振り返り、自分のめあてを立てることができるようにする。 | 【思】なりたい自分に向けて、自分のめあてを意思決定することができる。  （観察・ワークシート） |

**９　事後の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **児童・生徒の活動** | **指導上の留意点** | **目指す児童の姿と**  **評価方法** |
| ・振り返る。  ・確認し合う。 |  | **【思考・判断・表現】**  ～について考え、進んで実践して  いる。  **〈振り返りカード　観察〉** |

（参考）文科省・国研の特別活動指導資料『みんなでよりよい学級・学校生活をつくる小学校編』

協力：相模原市教育センター